

意見交換会実施報告書

開催日時	平成25年11月8日 午後7時00分 ~ 午後8時40分
開催場所	平公民館 学習室
出席議員	小林 治男（責任者） 中牧 盛登（司 会） 八木 聡（報告者） 勝野 富男（報告者） 和田 俊彦（記録者） 眞嶋 強志（記録者）
参加市民数	5人
議会報告内容	平成24年度決算の概要について 昨年度のご意見・ご要望の検討状況について 議員定数等について
意見交換内容 (要望提言等)	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">北アルプス広域一般廃棄物処理施設整備について</p> <p>○発言 1 北アルプス広域一般廃棄物処理施設の建設候補地が源汲地区となり、大町温泉郷観光協会から建設反対の声が上がっているが、現在の状況について教えてほしい。</p> <p>☆回答 1 北アルプス広域連合は大町温泉郷観光協会と今まで2回の意見交換会を実施しています。意見交換会をつうじて、景観や環境に対する懸念は根強いものの、誤解を生じていた部分もあることが分かりました。また施設整備に関しての安全面や環境対策については一定の理解をいただきました。 今後も建設についてご理解をいただくため、広域連合では3回目の意見交換会の実施について現在調整中です。</p> <p>○発言 2 建設候補地が源汲地区となったことについて、各議員はどのように考えているか。</p> <p>☆回答 2 出席議員がそれぞれの考えを回答。</p> <p>○発言 3 広域一般廃棄物処理施設の整備について、議会は大町市全体の事を考えながら活動を行って欲しい。</p> <p>☆回答 3 ご意見として承ります。</p>

○発言 4

施設建設予定地周辺の道路整備の早期着工を望む。
施設周辺については、マレットゴルフ場等を整備するなどし、憩いの場としてはどうか。また、焼却施設の熱を利用できないか。

☆回答 4

焼却施設の熱利用については、施設の規模が小さいため難しいと考えます。

また、周辺地域の道路整備の早期着工及び施設周辺の整備の内容については行政側に伝えます。

○発言 5

施設建設の内容が具体化するに従い、周辺住民は不安に感じることが多くなってくる。住民に対して細やかな説明を今後も望む。

☆回答 5

生活環境調査などで不安が払しょくできる部分もあると思いますが、今後も地元住民の方への丁寧な説明を行うよう行政側へ伝えると共に、議会としても周辺住民の方達のご意見をお聞きしていきたいと考えています。

ごみの分別について

○発言 6

ごみ処理施設建設に伴い、家庭ごみの分別についてはもっと徹底するべきだと考える。

☆回答 6

家庭ごみの分別や資源ごみの回収については、大町市は県内でも先進的に取り組んでいます。更なる向上を目指していけるよう行政側に伝えます。

生ごみ堆肥化事業について

○発言 7

生ごみ堆肥化について、ごみの減量化のためにも推進していくべきだと考える。市民へもっとPRすべきだ。

☆回答 7

生ごみ堆肥化事業については市としても推進をしていく考えですが、今後も地区説明会を行うなどしてPRに努めるよう行政側に伝えます。

	<p>有害鳥獣害対策について</p> <p>○発言 8 有害鳥獣害対策に係る人員や予算を増加させて欲しい。</p> <p>☆回答 8 行政側へ伝えます。</p> <p>議員定数等について</p> <p>○発言 9 議員定数を 18 人から 16 人へとする方向とのことだが、議員定数の削減により地域の意見が市政に反映できなくなるようなことは避けてほしい。</p> <p>☆回答 9 議員は全市的な立場で活動しており、意見交換会などを通じて、地域課題を議員全員で共有し、市政に反映できるよう努めていく。</p> <p>国政について</p> <p>○発言 10 高齢者施策、子育て施策、年金問題、消費税率引き上げ等、現在、国において様々な問題があるが、市議会として何か国政に対する活動をしているか。</p> <p>☆回答 10 国政に対する様々な問題について、市議会は、国等へ議会の意思を意見書としてまとめ、提出することができます。意見書の内容は議会に諮り、可決されたものを国等へ提出しています。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成 25 年 12 月 24 日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者 小林 治 男 ㊟